

北海道における住民主体の景観形成促進に関する研究

担 当 部 科 居住科学部 都市生活科・住生活科

研究の目的

本研究では、今後、道内各地域で住民主体の景観づくりが推進されていくことを目指し、地域の課題に応じた住民主体の景観づくり手法の整理・検討を行いました。

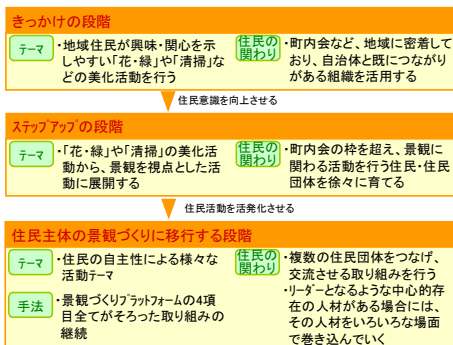
研究概要

道内 212 市町村と十勝地域で景観に関わる活動を行っている住民団体を対象としたアンケート調査から、「行政の組織体制づくり」「景観の意識啓発」「景観に関わる情報発信」「住民活動に対するサポート」の全ての項目について、行政が取り組んでいくことが、住民主体の景観づくりを促すことにつながっていることが明らかになりました。

また、それらの手法のうち、「インターネットを活用した情報発信」と「総合的学習の時間を活用した担い手育成のための景観学習」については、十勝地域での実践も行いました。

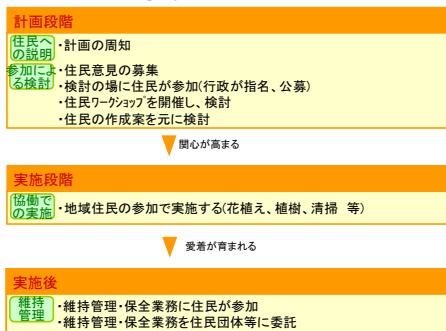
具体的な住民主体の景観づくり推進戦略

「花・緑」をテーマに・・・



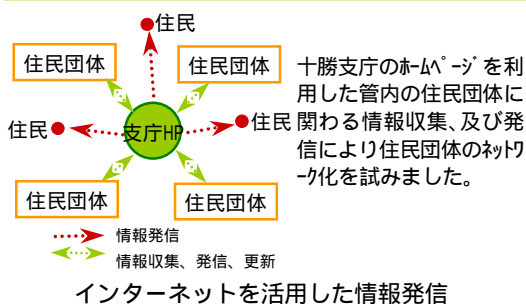
住民主体の景観づくりのきっかけには「花・緑」をテーマにすることが有効です。

公共事業をきっかけに・・・



公共事業も住民主体の景観づくりの推進に活用することができます。

十勝地域での実践



鹿追町内の小学校において景観を視点に取り入れた学習を実施しました。畑は鹿追町の景観資源でもあることから、畑づくりの学習に景観の視点を加えて実施しました。

総合的学習の時間を活用した景観学習

活用方法・成果

自治体の状況に応じた住民主体の景観づくり促進手法を「手法の取り組みやすさ」「自治体の景観に関わる取り組み度合いに応じた手法」「市町村規模に応じた手法」「住民との関わり度合いに応じた手法」の4つの観点から整理し、具体的な住民主体の景観づくり推進戦略を示しました。住民主体の景観づくりを目指す地域で、行政がこれらの成果を活用する事ができます。